

西町弁天町内会地区防災計画

平常時の心得

- ① 家庭用の消火器・火災報知器を備える。
- ② 家具類を固定し、高い所に物を置かない。
- ③ 食品・飲料水・生活用品などを少し多め（7日分）に備えておく。
- ④ 非常用品を備えておく。
- ⑤ ガラスが飛散する場合を考え、部屋にスリッパを置いておく。
- ⑥ 家具などが倒れる方向を避けて寝る。
- ⑦ 日頃からご近所と挨拶を交わし、お互いに顔見知りになっておく。
- ⑧ 日頃から家庭内で防災について話し合い、防災知識を深め、防災訓練に参加する。



<東京防災公式キャラクター「防サイくん」>

備えておきたい物

- ① 飲料水（1人当たり1日3L）
- ② 非常食（缶詰・レトルト食品など）（7日分）
- ③ 懐中電灯、小型ラジオ、携帯電話、笛
- ④ 予備電池、充電器、ライター、マッチ、ろうそく
- ⑤ カセットコンロ、ガスボンベ
- ⑥ ナイフ、缶切り、裁縫セット
- ⑦ 防寒具、毛布、ブルーシート、ビニールテープ
- ⑧ 雨合羽、長靴、作業用手袋、簡単な工具類
- ⑨ ポリ容器、水袋、ラップ類、ビニール袋、紐
- ⑩ 避難持ち出し袋、簡易トイレ、トイレットペーパー

赤ちゃん・女性・持病のある人・ご高齢の方へ

- ① アレルギー対応のスティックタイプの粉ミルク離乳食（7日分）
- ② おむつ、お尻ふき
- ③ 哺乳瓶と哺乳瓶用洗剤
- ④ 生理用品
- ⑤ 酸素ボンベ等生命維持用品・機器
- ⑥ 柔らかめの高齢者用食品（7日分）
- ⑦ 常備薬（処方箋）、お薬手帳



～日頃使用しているものを多めに備えましょう～

組織図



防災活動

- ★ 防災訓練の実施
- ★ 班単位の防災活動の体制づくり
- ★ 安否確認の体制づくり
- ★ 災害発生時の体制の仕組みづくり
- ★ 災害時要援護者の避難方法の取組み
- ★ 在宅避難者の連絡体制の確立
- ★ 防災倉庫の点検・清掃の実施
- ★ 地区防災センターとの情報連絡・食料提供の仕組みづくり

- * 防災推進部は、1回／月の防災会議を開催し、町内会の基本理念に基づいて、防災に係る案件を審議して、解決を図る。
- * 防災対策を計画・立案・検討し、町内会会員全体で防災活動を展開する。
- * 事務局員は、防災の運営に係る事務・情報の連絡等を行う。

震度5弱以上の大きな地震が起きたら

地震直後の行動

- ① 身の安全を確保し、揺れが収まるまで、落ち着いて様子を見る。
- ② 火のもとの安全を確認する。
- ③ 慌てて外へ飛び出さない。慎重に行動する。
- ④ 窓や戸を開けて、いざという時の出口を確認する。
- ⑤ テレビ、ラジオ等の情報を確認し、適切な行動をする。
- ⑥ 避難する前には、室内の安全を確認し、分電盤のブレーカーを切る。
- ⑦ 門や塀には近寄らない。
- ⑧ 家族に異常がなければ、「家族全員無事です」(安全カード)のカードを門扉に取り付ける。

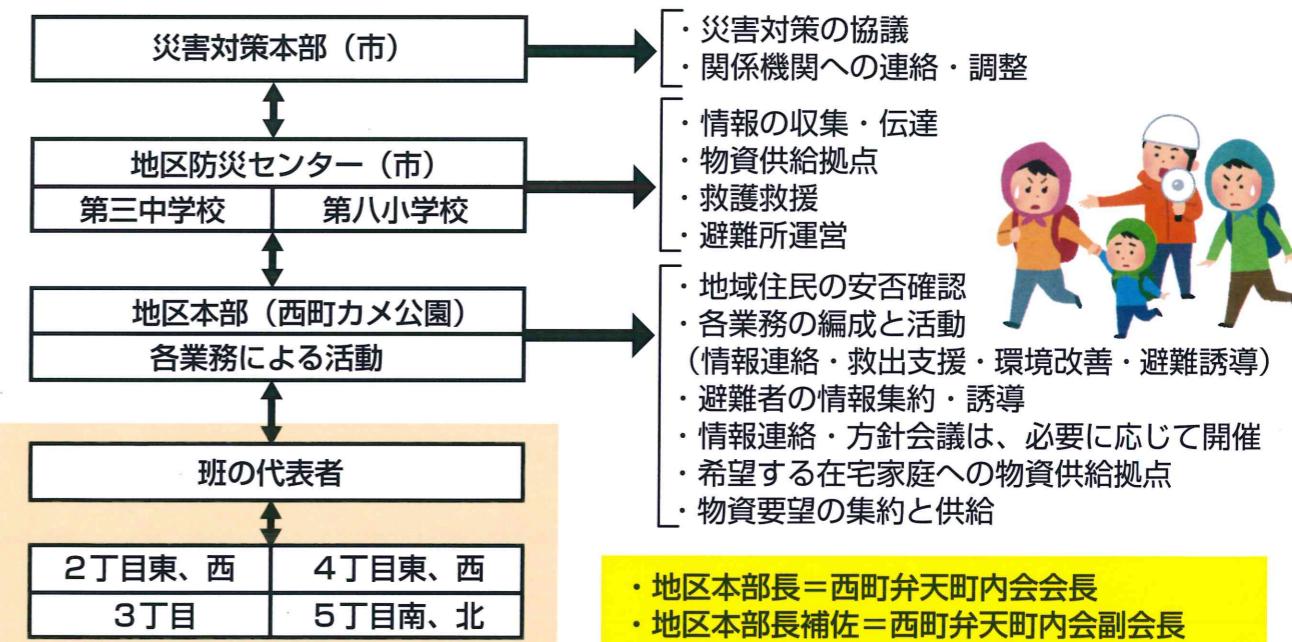


<東京防災公式キャラクター「防サイくん」>

地震発生後の行動

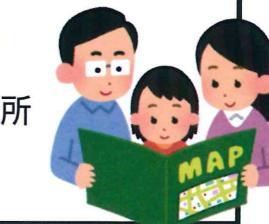
- ① お互いに協力し合って、近所の被害状況や救出・救護を必要とする者を班全体で確認し、代表者が地区本部に報告し、指示を待つ。
- ② 震度5弱以上の地震で、自宅で生活するのが困難な人や地区防災センターへの避難を希望する人は、班の代表者に連絡して、一時避難・集合場所（下段参照）に参集し、地区本部係員の誘導で、まとまって地区防災センターへ避難する。
- ③ 要介護者や一人住まいの高齢者は、班の代表者に連絡して、地区本部の指示に従って行動する。

地震発生時の地区本部体制



一時避難・集合場所（班単位）

- ★ 2丁目東…西町カエデ公園
- ★ 3丁目…西町はなみづき公園
- ★ 4丁目東…西町カメ公園
- ★ 5丁目南…地区災害時待避所バスロータリー
- ★ 2丁目西…西町こじか公園
- ★ 4丁目西…地区災害時待避所
- ★ 5丁目北…西町弁天公園



地区防災センターの第三中学校は約1,000人、第八小学校は約840人しか収容できません。住み慣れた自宅が無事であれば、できるだけ在宅避難を考えましょう。

